

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会	
	課名	スポーツ振興課	
	係名	スポーツ振興係	
	記入者		電話(内線) 612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	体育施設管理運営事業(鹿窪運動公園管理運営)	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質 一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	43101 (総合計画掲載 ^ハ - ^ジ 123 ^ハ - ^ジ)			会計区分 一般会計	
基本目標(政策)	4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)			財源区分 市単独	
基本施策	4-3誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進(スポーツ)			予算科目 款 10 項 6 目 2	
施策	①スポーツ・レクリエーション活動環境の充実			予算書上の 事業名称 鹿窪運動公園管理運営経費	
施策内容	1施設の有効活用			(予算書 183 ^ハ - ^ジ に掲載)	
(5) 事業期間	開始 昭和 24 年 月から 終了 年 月まで (力年)	(8) 事務分類		自治事務	
		根拠法令		結城市鹿窪運動公園施設の設置及び管理に関する条例	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)
施設利用者	適切な維持管理により、「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ等を楽しめる拠点となる施設として整備を進める。 また、平成31年茨城国体の開催を受け、全国各地から訪れる選手や応援団等に本市の良いイメージと、良い思い出を残していただくため、充分なおもてなしを行う。また、行幸啓に対応した整備を進める。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
・鹿窪運動公園管理を指定管理者に委託し、適切な維持管理を実施する。 ・第4駐車場を買収し、不足している駐車場を確保する。 ・施設用備品の管理を実施し、適切な備品の更新を行う。 ・年次計画により、整備工事を行う。 29年度 アリーナ水銀灯改修工事 野球場ラバーフェンス等塗装改修 サブグラウンドネットフェンス改修工事 30年度 駐車場ライン引き、武道館空調工事 総合体育館トイレウォシュレット改修工事 アリーナ床面研磨	体育施設の整備に合わせ、維持管理を実施。近隣他市も、市民スポーツの拠点となる施設を有し、独自に管理を実施している。

(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応
市民のニーズが多様化しているとともに、平成31年茨城国体をにらみながら、優先順位の高いものから計画的に改修を実施。また、体育施設及び施設備品等の修繕や更新を順次実施。

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映	
● 予算内訳	実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)	
事業内容	27 年度	28 年度	29 年度 30 年度 31 年度	
(1) 事務事業費	報償費	51	0	
	需用費	1,476	1,666	
	役務費	87	91	
	委託料	72,452	72,988	
	使用料及び賃借料	1,586	1,586	
	工事請負費	5,843	1,199	
	備品購入費	104	0	
	合計	81,599	77,530	
財源	国庫支出金(千円)			
	県支出金(千円)			
	地方債(千円)			
	その他特定財源(千円)			
	一般財源(千円)	81,599	77,530	
	合計(千円)	81,599	77,530	
補助・起債制度名				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）							
指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	事業開催 （指定管理者自主事業・共催事業）	目標値	回		25	25	25
		実績（見込）値		19	25		
		目標値					
		実績（見込）値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	施設利用者数	目標値	人		180,000	180,000	180,000
		実績（見込）値		176,772	180,000	180,000	180,000
		達成率		98.2 %	100.0 %		
		目標値					
		実績（見込）値					
		達成率		%	%		
5. 事業評価							
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 利用者へのサービスの向上、施設の充実を図るため、各種設備の修繕、器具等の更新を実施した。							
(2) 項目別評価							
評価項目・客観的評価				理由			
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	成人週1スポーツの拠点となる施設であり、今後も適切な管理を実施しなければならない。			
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。			
	手段の妥当性	A	妥当である	現在のやり方が一般的である。			
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	施設の改修、設備切り替え等			
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民の誰もが利用できる施設であり、性質上利用できない種目等あるが、一般的であり公平性は確保されている。			
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	昨年度より利用者は若干減っているが、概ね横ばい傾向である。			
進捗度	事業の進捗	A	順調である	順次、施設改修、器具等の更新を実施。			
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 ・大規模な大会開催時に駐車場が不足する。 ・利用者の増加及び満足度の向上のため、施設の安全確保及び機能強化を図る。							
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ ・今後も施設・設備の強化、拡充及び安全対策を計画的に行っていく。自主事業・共同事業等の積極的開催、コスト効率の改善を図る。 ・現在借地している駐車場及びその隣地の買収を行い、駐車場不足を解消する。（都市計画課と調整） ・平成31年茨城国体をにらみながら、優先順位の高いものから計画的に改修を実施する。							
6. 事業の方向性判断							
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠		
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。		
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			指定管理者制度の利点を活用しつつ、市との連携を密にしながら「成人週1スポーツ」の実現に向け、利用者が安全にスポーツ・レクリエーションを楽しめる拠点となるよう整備充実を図る。		
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。		